

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 7 月 27 日現在

機関番号：12603

研究種目：基盤研究(B) (特設分野研究)

研究期間：2017～2022

課題番号：17KT0031

研究課題名(和文) グローバル化と「共感の共同体」－19世紀後半から20世紀後半を中心に－

研究課題名(英文) "Emotional Communities" in the Age of Globalization

研究代表者

伊東 剛史 (Ito, Takashi)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・准教授

研究者番号：10611080

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 14,200,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は個人をホモ・アフェクトゥスと捉え、その微視的視点から、19世紀後半～20世紀後半のグローバル史を再検討するものである。研究対象となる時代は、政治、科学、文化の諸領域において、感情の意味と役割に大きな関心が寄せられるようになった時代である。本研究はその背景に、複数の文化、宗教、エスニシティが混交した境界域の歴史的経験があると考え、国民国家形成期イタリアの人種主義、昭和日本の日蓮主義と東亜連盟運動、国際連盟による戦争捕虜への人道支援、社会主義ユーゴスラヴィアの「友愛と統一」など、地理的空間と思想的領域における個別具体的な《境界域》に関する事例研究を行い、最終的な成果として論文集を発表する。

研究成果の学術的意義や社会的意義

グローバル史と感情史はともに、近年、歴史学の内外において関心を集める重要なテーマである。そのような状況にあって、本研究は感情/情動に着目して歴史的アクターとしての個人や集団を見直し、その視点からグローバル化の歴史を再考したものである。「孤独」のように、これまであまり歴史的側面が考えられなかった事象や問題についても、歴史化して考えることを可能にするという意味で、現代社会の様々な課題への対応にも資する研究である。こうした研究テーマの重要性をふまえて、論文集をまとめ刊行に導くことができた。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this joint research project is to deepen the historical understanding of globalization by adopting the approach of emotion histories. The project focuses on the late 19th to the early 20th century, a period marked by the accelerated growth of globalization, which led to perceived conflicts and challenges among various regions and communities. Through source-based case studies and a reevaluation of the methods and methodologies employed in emotion histories, this project aims to reassess the affective infrastructure of globalization.

研究分野：イギリス史、感情史

キーワード：感情史 グローバル・ヒストリー グローバル・スタディーズ 境界域 共感

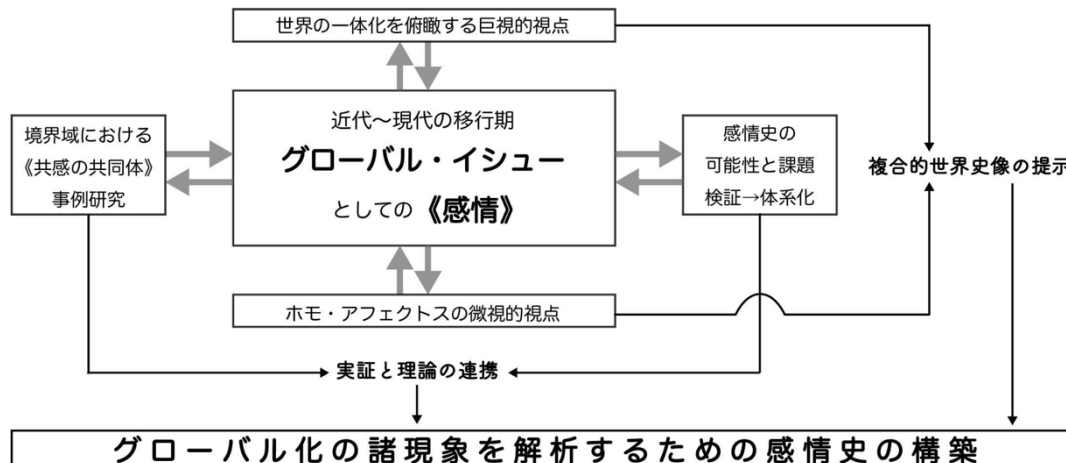
1. 研究開始当初の背景

グローバル化が加速度的に進行した19世紀後半以降、世界の諸地域は即時的に大きな影響を与えあうようになった。しかし、国民国家を基礎単位とする伝統史学では、これを十分に理解することができないため、グローバル史が比較経済史の観点からグローバル化の諸現象を解明してきた。このようなグローバル史の進展は、俯瞰的な世界史像を構築する一方、そこに歴史的主体としての個人がどのように位置づけられるのかという重要な問いをもたらした。この問いに答えるには、歴史家リン・ハントが指摘するように、個人と社会の間、および異なる社会集団の間の感情的交錯を研究主題に設定しなければならない。それは、移民問題や文明の衝突を感情という観点から分析するだけでなく、感情を理性と対置させる伝統的解釈を再考することも意味している。実際に「9.11」以降、認知科学の研究成果を摂取して発展した「感情史」は、人類史のさまざまな局面において、感情が共同体の紐帯となるだけでなく、その変容や解体を導いたことを明らかにしてきた。こうした研究動向は、感情史とグローバル史を架橋する研究の重要性と発展性を示している。

2. 研究の目的

このような問題関心から、本研究は個人をホモ・アフェクトゥスと捉え、その微視的視点から、19世紀後半~20世紀後半のグローバル史を再検討する。研究対象となる一世紀は、政治、科学、文化の諸領域において、感情の意味と役割に大きな関心が寄せられるようになった時代である。本研究はその背景に、複数の文化、宗教、エスニシティが混交した《境界域》の歴史的経験があると想定し、国民国家形成期イタリアの人種主義、昭和日本の日蓮主義と東亜連盟運動、国際連盟による戦争捕虜への人道支援、社会主義ユーゴスラヴィアの「友愛と統一」など、地理的空間と思想的領域における個別具体的な《境界域》に関する事例研究を行う。それにより、他者への共感が異なる社会集団の感情的交錯からどのように生まれ、共同体の精神的紐帯となったのかを総合的に明らかにする。さらに、より上位の共同体理念を支える感情の拡散や凝集にも着目し、弱者の救済を目指す人道主義や、差別化・序列化を志向する人種主義が、個人と社会の関係に及ぼした影響を考察する。本研究は、これら事例研究に加えて、感情史の理論研究にも取り組み、共感という感情の歴史的展開と現代の特性を明らかにする。巨視的な視点からのグローバル史に、微視的な視点からの感情史を導入することで、複合的な世界史像を構築する道を切り開きたい。このように、本研究の目的は、両世界大戦を挟む1世紀に焦点をあて、感情史の観点からグローバル史を再構成することである。

図1 プロジェクト概念図



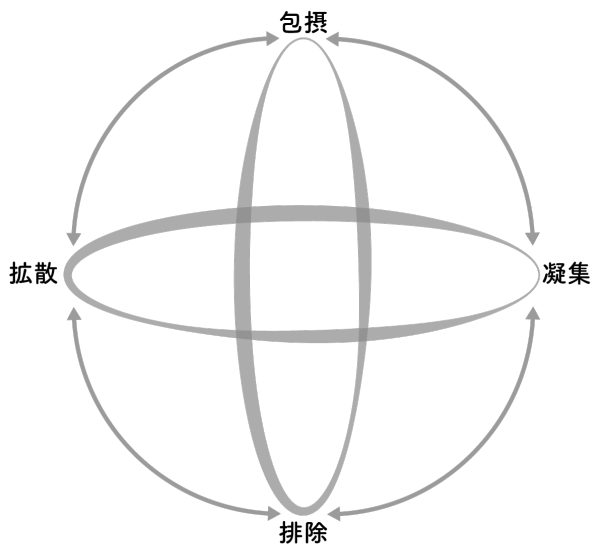
3. 研究の方法

本研究は、グローバル・スタディーズに感情史を導入するため、理論と事例研究の両面から、研究方法上のプラットフォームを構築する。理論においては、意思決定過程における感情の役割を再評価する認知科学研究を参照しながら、個人的・瞬間的に経験される感情が、集団的経験として共有され、政治的に活用される過程を解析する(仮説モデルの構築)。事例研究においては、とくに1 規範的文書・図像史料(プロパガンダ等)、2 エゴ・ドキュメント(日記や手紙などの私的文書)、3 大衆メディアの3つの史料群を用い、個人の感情的経験とその社会的表現について、それを制約したり、活性化させたりする文化規範や社会制度との双方向的な関係に注意しながら、分析する。これにより個々の事例研究は、分析の枠組みと方法論を共有し、仮説モデルとの往還

により、最終的な理解モデルの構築に寄与する。研究参加者は、境界域における異なる集団の感情的交錯をテーマとする事例研究に従事するとともに、個別研究の比較・相互参照を可能とする総合的な理解モデルの構築に寄与する。個別研究の対象地域は地理的バランスを考慮し、西欧・中東欧から東アジア、日本にかけて配置される。いずれも両世界大戦前後の同一時間軸上に位置づけられるため、共時的視点からの包括的な研究が可能である。感情史研究センター(ベルリン)など海外の研究機関と連携し、積極的に共同研究の成果を国内外に発信することも本研究の特徴である。国際的学術コミュニティへの還流は、日本におけるグローバル・スタディーズの独創性と優位性を確立することに資する。

本研究は、上記の研究プラットフォーム上に、共同研究遂行のための作業仮説(右図)を用意する。これは、共感には2組の相反する心的作用があるという想定に基づく。ひとつは、社会的弱者である他者の救済に向かう作用と、共感の対象外となった他者を差別し、排除する作用である。これを、(ア)「包摂」と「排除」と設定する。もうひとつは、既存の政治体制などの境界を超えて広がり、共有される作用と、逆に所与の社会集団の内部へと向かい、その精神的紐帯を強化する作用である。これを(イ)「拡散」と「凝集」と設定する。

図2 共感の二面性—作業仮説—



4. 研究成果

本プロジェクトの成果としては、各メンバが精力的に活動したことで、多くの論文を発表することができた。そのなかでプロジェクト全体の中間的な成果として、バーバラ・H・ローゼンワイン、リッカルド・クリスティアーニ(伊東剛史訳、森田直子訳、小田原琳訳、館葉月訳)『感情史とは何か』(岩波書店、2021年)があげられる。同書は英語圏における感情史のスタンダードな概説書であり、感情史とは何か、およびその理論と方法について、「科学」「アプローチ」「身体」「未来」という4つの視点から論じたものである。本プロジェクトのメンバー4名が分担して、その翻訳を出版した。日本語でも読めるようになったから、日本における感情史への関心の高まりに寄与することができたと考えられる。また、翻訳出版の過程を研究会全体とも一部共有したことで、感情史に関するプロジェクトメンバーの共通意識が形成され、本プロジェクトの最終的な成果のとりまとめに資すること大であった。

その最終的な成果としては、論文集『(仮)共感の共同体』(平凡社、2023年10月刊行予定)をまとめることができた。同書は、先述の共感の二面性に着目しながら、その歴史の変遷にグロ

感情史とは何か

What is the History of Emotions?



バーバラ・H・ローゼンワイン
リッカルド・クリスティアーニ
伊東剛史／森田直子／小田原琳／館葉月……訳

岩波書店

ーバルな視点から迫ったものである。もちろん、現在の共感に関する議論の多くが啓蒙期ヨーロッパの思想家を参照し、実際に一九世紀以降もイギリス、フランス、ドイツ、イタリア、およびアメリカにおいて、啓蒙思想家の議論が継承されてきたことから、本書の軸足のひとつは、伝統的に西洋と呼ばれてきた空間に置かれている。しかし、現在の共感に対する高い関心や、多様な共感のありようは、先述のとおり一九世紀から二〇世紀後半にかけて展開した、トランスナショナルな遭遇や衝突の上に成立したと想定される。本書では、異なる規範や価値観、そして帰属意識によって支えられた複数の共同体が、激しいせめぎ合いを見せた空間にもうひとつの軸足を置いた。具体的には、ヨーロッパのキリスト教宣教師が奥深く入り込んだ一九世紀の中国、封建的身分制度が崩壊し資本主義的な所有権概念が持ち込まれた明治日本の村落共同体、帝国日本の下で多くの開拓移民が送り込まれた満州、そして一度は連邦国家を樹立しながら破壊的な民族紛争に至ったユーゴスラビアである。

以上のように、グローバル化のあらゆる側面をカバーするものではないが、そのいくつかの重要な局面を舞台とする事例研究を行うことで、「共感のグローバル史」として、本プロジェクトの成果をまとめることができた。

図3 「感情史とは何か」書影

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計92件（うち査読付論文 20件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 26件）

1. 著者名 伊東剛史	4. 巻 63
2. 論文標題 (巻頭言) 動物愛護の先進国イギリス? : 歴史的視点から考える	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ヒトと動物の関係学会誌	6. 最初と最後の頁 6-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊東剛史	4. 巻 318
2. 論文標題 19世紀ロンドンの乗合馬車と社会生活 : Omnibus Life in London(1859)に関する一考察	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 専修大学人文科学研究所月報	6. 最初と最後の頁 47-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊東剛史	4. 巻 20
2. 論文標題 (書評) Helen Louise Cowie, Victims of Fashion: Animal Commodities in Victorian Britain	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ヴィクトリア朝文化研究	6. 最初と最後の頁 64-168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 クリントン・ゴダール	4. 巻 54
2. 論文標題 近代日本の進化論と宗教	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本思想史学	6. 最初と最後の頁 3月11日
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森田直子	4. 巻 10
2. 論文標題 コメンタリ：感情史の立場から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 女性とジェンダーの歴史	6. 最初と最後の頁 23-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.50827/jwhn.10.0_23	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大鳥由香子	4. 巻 57
2. 論文標題 UAMsの創出 1907年移民法と「保護者帯同の原則」の法制化	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 アメリカ研究	6. 最初と最後の頁 185-208
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木 健太	4. 巻 131(5)
2. 論文標題 2021年の歴史学界：回顧と展望 ヨーロッパ（現代：ロシア・東欧・北欧）	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 史学雑誌	6. 最初と最後の頁 389-395
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊東剛史	4. 巻 26
2. 論文標題 動物園展示と動物園史におけるアニマル・ターン	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 動物観研究	6. 最初と最後の頁 9-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊東剛史	4. 巻 312
2. 論文標題 二ホンライチョウの記載に関する歴史研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 専修大学人文科学研究所月報	6. 最初と最後の頁 17-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊東剛史	4. 巻 49巻12号
2. 論文標題 進化論の被造物：歴史の中のポスト・ヒューマン	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 60-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木 健太	4. 巻 44
2. 論文標題 新刊紹介： 田中一生『追想のユーゴスラヴィア』かりん舎、2020年	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東欧史研究	6. 最初と最後の頁 39-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yukako Otori	4. 巻 NA
2. 論文標題 Disposable Subjects: Law and Child Migration to the United States, 1890s-1920s	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Harvard University PhD Dissertation	6. 最初と最後の頁 i-414
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森田直子	4. 巻 増刊第13号
2. 論文標題 感情史とは何か	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 臨床心理学	6. 最初と最後の頁 67-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ジョン・ポーター	4. 巻 239
2. 論文標題 幕末江戸の場末門前町と身的周縁：乞胸の龍光寺門前への集団的移転を事例に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 部落問題研究	6. 最初と最後の頁 95-120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 倉田明子	4. 巻 70
2. 論文標題 民主化の基盤を破壊した香港「愛国者統治」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 60-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小田原琳	4. 巻 3号
2. 論文標題 【翻訳・解説】シルヴィア・フェデリーチ「未来はケアからやってくる」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 tattva	6. 最初と最後の頁 134-147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小田原琳	4. 巻 24号
2. 論文標題 過去と現在の対話としての歴史学とジェンダー - - イタリア史を中心に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 クアドランテ	6. 最初と最後の頁 135-138
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小田原琳	4. 巻 67号
2. 論文標題 21世紀の (ある) 感情の共同体 - - ヤン・プランパー『感情史の始まり』によせて	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 現代史研究	6. 最初と最後の頁 59-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小田原琳	4. 巻 928号
2. 論文標題 「私たち」の歴史としてのジェンダー史	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 歴史地理教育	6. 最初と最後の頁 56-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Rin Odawara	4. 巻 47
2. 論文標題 A challenging conversation between feminists and people with disabilities: fight for the reproductive rights and fight against eugenics in postwar Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 DEP - Deportate, esuli, profughe	6. 最初と最後の頁 169-174
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 館葉月	4. 巻 13
2. 論文標題 「連鎖する人道危機 第一次世界大戦後のヨーロッパと赤十字運動」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 上智ヨーロッパ研究	6. 最初と最後の頁 57-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 館葉月	4. 巻 272
2. 論文標題 書評「タラ・ザーラ著『失われた子どもたち 第二次世界大戦後のヨーロッパの家族再建』(三時真貴子・北村陽子・岩下誠・江口布由子訳、みすず書房、2019年)」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 西洋史学	6. 最初と最後の頁 202-205
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊東剛史	4. 巻 305
2. 論文標題 20世紀初頭のフィリピン南部における鳥類採集—新種の発見と命名をめぐる	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 専修大学人文科学研究所月報	6. 最初と最後の頁 25-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34360/00011363	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊東剛史	4. 巻 5(1)
2. 論文標題 感情史の萌芽と心理学—ホイジンガとフェーヴル	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ	6. 最初と最後の頁 37-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_37	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊東剛史	4. 巻 48(16)
2. 論文標題 ダーウィンとストリキニーネ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 246
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 倉田明子	4. 巻 636
2. 論文標題 香港社会とキリスト教：中国との関係性から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東亜	6. 最初と最後の頁 70-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森田直子	4. 巻 5(1)
2. 論文標題 歴史学は感情をどう扱うのか 黒りをめぐる感情史の一試論	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ	6. 最初と最後の頁 45-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20797/ems.5.1_45	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小田原琳	4. 巻 75巻7号
2. 論文標題 フェミニズム/再生産/コモンズ - -シルヴィア・フェデリーチの議論によせて	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『福音と世界』	6. 最初と最後の頁 24-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Rin Odawara, Naoko Seriu	4. 巻 23
2. 論文標題 Introduction: War, Violence and Gender in a Global Perspective: Memories and Representations in the Cases of the Algerian War, South Korean 'Comfort Women' and the Bosnian 'Mothers of Srebrenica'	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 クアドランテ	6. 最初と最後の頁 73-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小田原琳	4. 巻 1号
2. 論文標題 パンデミックの危機に立ち向かうイタリアの女性たち	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『f visions』	6. 最初と最後の頁 44-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木 健太	4. 巻 10
2. 論文標題 ユーゴスラヴィア解体における対立とその形成 1980年代末のスロヴェニアとセルビア	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 グローバル・コミュニケーション研究	6. 最初と最後の頁 171-200
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 館葉月	4. 巻 997
2. 論文標題 考古学からみえる第一次世界大戦-フランス北東部の経験と記憶	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 歴史学研究	6. 最初と最後の頁 35-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 館葉月	4. 巻 844
2. 論文標題 中立勢力による戦時の人道活動-第一次世界大戦期のスイスと赤十字国際委員会に着目して	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 歴史評論	6. 最初と最後の頁 16-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 館葉月	4. 巻 129-5
2. 論文標題 回顧と展望 現代フランス	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 史学雑誌	6. 最初と最後の頁 373-377
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊東剛史	4. 巻 5
2. 論文標題 感情史の萌芽と心理学 ホイジンガとフェーヴル	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ	6. 最初と最後の頁 in print
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊東剛史	4. 巻 269
2. 論文標題 (書評)並松信久『農の科学史 イギリス「所領知」の革新と制度化』(名古屋大学出版会、2016年)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 西洋史学	6. 最初と最後の頁 87-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊東剛史	4. 巻 22
2. 論文標題 犬になるということ (書評) 大石高典・近藤祉秋・池田光穂編『犬からみた人類史』(勉生出版、2019年)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 クアドランテ	6. 最初と最後の頁 129-132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊東剛史	4. 巻 24
2. 論文標題 イギリスにおける動物福祉の歴史 現代日本の視点から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 動物観研究	6. 最初と最後の頁 9月12日
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takashi Ito	4. 巻 134
2. 論文標題 Review of Gary Bruce, Through the Lion Gate: A History of the Berlin Zoo (Oxford: Oxford University Press, 2017)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 English Historical Review	6. 最初と最後の頁 1328-1330
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ehr/cez254	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊東剛史	4. 巻 300
2. 論文標題 ミカドキジの命名、採集、および保全繁殖の歴史に関する基礎研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 専修大学人文科学研究所月報	6. 最初と最後の頁 27-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34360/00010083	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊東剛史	4. 巻 11
2. 論文標題 現代のプロメテウス	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ピエリア	6. 最初と最後の頁 14-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 G. Clinton Godart	4. 巻 49
2. 論文標題 Brian J. McVeigh, The History of Japanese Psychology: Global Perspectives, 1875-1950	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 East Asian Science, Technology, and Medicine	6. 最初と最後の頁 126-127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 G. Clinton Godart	4. 巻 32
2. 論文標題 "Curse on this Country: The Rebellious Army of Imperial Japan, by Danny Orbach,"	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japan Review	6. 最初と最後の頁 205 - 207
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15055/00007211	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 倉田明子	4. 巻 22
2. 論文標題 近代中国「間島」におけるキリスト教	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Quadrante クアドランテ	6. 最初と最後の頁 25-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 倉田明子	4. 巻 60
2. 論文標題 反逃亡犯条例運動と香港社会	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 100-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森田直子	4. 巻 5
2. 論文標題 歴史学は感情をどう扱うのか 罵りをめぐる感情史の一試論	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 エモーション・スタディーズ	6. 最初と最後の頁 in print
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 森田直子	4. 巻 142
2. 論文標題 メディアにみる近代ドイツの「決闘試合」(下)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 立正大学文学部論叢	6. 最初と最後の頁 65-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森田直子	4. 巻 53
2. 論文標題 コメント: グローバル・ヒストリーにおける窪川とヴァッカーズドルフ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ドイツ研究	6. 最初と最後の頁 49-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Rin Odawara	4. 巻 41-42
2. 論文標題 Anti-Nuclear Movement and 'Motherhood' in Post-War Japan: A Feminist Perspective	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 DEP: Deportate, esuli, profughe	6. 最初と最後の頁 54-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 舘葉月	4. 巻 730
2. 論文標題 読書案内「国際連盟 - インターナショナリズム再考」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『歴史と地理 - 世界史の研究』	6. 最初と最後の頁 42-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 舘葉月	4. 巻 129 5
2. 論文標題 回顧と展望「現代フランス」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『史学雑誌』	6. 最初と最後の頁 初稿済み
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 舘葉月	4. 巻 997
2. 論文標題 「考古学からみえる第一次世界大戦 フランス北東部の経験と記憶」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『歴史学研究』	6. 最初と最後の頁 再校済み
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木健太	4. 巻 1146
2. 論文標題 ユーゴスラヴィアにおける1989年 連邦解体前夜の変革と対立	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 思想	6. 最初と最後の頁 120-139
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木健太	4. 巻 12
2. 論文標題 書物の喪失 かつて図書館だったサラエヴォの「市庁舎」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pieria = ピエリア	6. 最初と最後の頁 40-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takashi Ito	4. 巻 na
2. 論文標題 Review of Gary Bruce, Through the Lion Gate: A History of the Berlin Zoo, Oxford: Oxford University Press, 2017	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 English Historical Review	6. 最初と最後の頁 forthcoming
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takashi Ito	4. 巻 109(2)
2. 論文標題 Review of Daniel E. Bender, The Animal Game: Searching for Wildness at the American Zoo, Cambridge, MA: Harvard University Press, 2017	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ISIS	6. 最初と最後の頁 432-433
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1086/698253	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 倉田明子	4. 巻 77(2)
2. 論文標題 書評 土肥歩著『華南中國の近代とキリスト教』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東洋史研究	6. 最初と最後の頁 294-305
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 倉田明子	4. 巻 72(5)
2. 論文標題 書評 菊池秀明著 汲古書院『北伐と西征：太平天国前期史研究』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中国研究月報	6. 最初と最後の頁 41-43
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森田直子	4. 巻 142
2. 論文標題 メディアにみる近代ドイツの「決闘試合」(下)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 立正大学文学部論叢	6. 最初と最後の頁 65-84
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森田直子	4. 巻 53
2. 論文標題 コメント：グローバル・ヒストリーにおける窪川とヴァッカーズドルフ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ドイツ研究	6. 最初と最後の頁 49-54
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森田直子	4. 巻 1132
2. 論文標題 感情史の現在	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 思想	6. 最初と最後の頁 21-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森田直子	4. 巻 265
2. 論文標題 書評：伊東剛史・後藤はる美『痛みと感情のイギリス史』（東京外国語大学出版会，2017年）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 西洋史学	6. 最初と最後の頁 84-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森田直子	4. 巻 1132
2. 論文標題 翻訳：ウーテ・フレーフェルト「屈辱の政治」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 思想	6. 最初と最後の頁 5月20日
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 芹生尚子・小田原琳	4. 巻 21
2. 論文標題 小特集「統治の実践と植民地」解題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『クアドランテ』	6. 最初と最後の頁 139-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 小田原琳	4. 巻 822
2. 論文標題 書評：ロジャース・ブルーベイカー著『グローバル化する世界と「帰属の政治」』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『歴史評論』	6. 最初と最後の頁 101-106
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ポーター・ジョン	4. 巻 229
2. 論文標題 明治初期東京における家畜伝染病と斃獣処理	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『部落問題研究』	6. 最初と最後の頁 1月23日
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 John Porter	4. 巻 10
2. 論文標題 Panhandling, Subsistence, and Poverty Management in Meiji Tokyo	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『Urban Scope』	6. 最初と最後の頁 20-25
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 John Porter	4. 巻 na
2. 論文標題 Cattle Plague, Livestock Disposal, and the Dismantling of the Early Modern Status Order	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Revisiting Japan's Restoration: Interregional, Interdisciplinary, and Alternative Perspectives, National University of Singapore Press	6. 最初と最後の頁 forthcoming
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木健太	4. 巻 65
2. 論文標題 1988年セルビアにおける大衆運動とナショナリズム ヴォイヴォディナの諸集会についての一考察	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 スラヴ研究	6. 最初と最後の頁 67-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木健太	4. 巻 na
2. 論文標題 社会主義ユーゴスラヴィア解体過程におけるナショナリズム セルビアの政治と社会 (1987-1992年)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 博士学位論文 (東京大学大学院総合文化研究科)	6. 最初と最後の頁 na
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木健太	4. 巻 826
2. 論文標題 書評 / 橋本伸也編著 『せめぎあう中東欧・ロシアの歴史認識問題』	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 歴史評論	6. 最初と最後の頁 104-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 SUZUKI Kenta	4. 巻 XL
2. 論文標題 Book Review: Dijana Jelaca, Masa Kolanovic, Danijela Lugaric, eds., The Cultural Life of Capitalism in Yugoslavia: (Post)Socialism and Its Other ([New York]: Palgrave Macmillan, 2017), xvii+359 pp.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Acta Slavica Iaponica (Slavic-Eurasian Research Center, Hokkaido University)	6. 最初と最後の頁 forthcoming
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 G. Clinton Godart	4. 巻 na
2. 論文標題 Review of Melissa Curley, Pure Land, Real World Modern Buddhism, Japanese Leftists, and the Utopian Imagination, University of Hawai'i Press, February 2017	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Reading Religion	6. 最初と最後の頁 online journal
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 G. Clinton Godart	4. 巻 49
2. 論文標題 Review of Brian J. McVeigh, The History of Japanese Psychology: Global Perspectives, 1875-1950, Bloomsbury Academic, 2017	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 EASTM	6. 最初と最後の頁 126-127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊東剛史	4. 巻 291
2. 論文標題 犬吠埼灯台から考える「科学のリロケーション」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 専修大学人文科学研究所月報 (291) 1-22 2018年1月	6. 最初と最後の頁 1-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊東剛史	4. 巻 44
2. 論文標題 19世紀のロンドン動物学会からみた動物学の制度化	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 化学史研究	6. 最初と最後の頁 164-175
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takashi Ito	4. 巻 109
2. 論文標題 Review of Daniel E. Bender, The Animal Game: Searching for Wildness at the American Zoo, Cambridge, MA: Harvard University, 2017	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Isis	6. 最初と最後の頁 forthcoming
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊東剛史	4. 巻 281
2. 論文標題 書評：勝田俊輔・高神信一（編）『アイルランド大飢饉ージャガイモ・「ジェノサイド」・ジョンブル』（刀水書房、2016年）	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 科学史研究	6. 最初と最後の頁 70-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊東剛史	4. 巻 9
2. 論文標題 紹介：痛みは普遍的なのかー『痛みと感情のイギリス史』から考える	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ピエリア	6. 最初と最後の頁 64-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 小田原琳	4. 巻 38
2. 論文標題 シルヴィア・フェデリーチ - - 労働を人間の手に取り戻す	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 POSSE	6. 最初と最後の頁 186-197
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小田原琳	4. 巻 73(5)
2. 論文標題 『キャリバンと魔女』の問い - マルクス主義フェミニズムを再考する	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 福音と世界	6. 最初と最後の頁 22-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 倉田明子	4. 巻 10
2. 論文標題 信仰と神のことは	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ピエリア	6. 最初と最後の頁 6-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 倉田明子	4. 巻 874
2. 論文標題 東アジアの未来をつくる香港の若者たち	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 歴史地理教育	6. 最初と最後の頁 10-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 倉田明子	4. 巻 8
2. 論文標題 返還と「香港史」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 なしまあ	6. 最初と最後の頁 6-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木健太	4. 巻 40
2. 論文標題 書評：山本明代、パプ・ノルベルト編『移動がつくる東中欧・バルカン史』（刀水書房、2017年）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東欧史研究	6. 最初と最後の頁 72-79
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木健太	4. 巻 1
2. 論文標題 ユーゴスラヴィア史学の試み 『ユーゴスラヴィア史学雑誌』の概観	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 科学研究費補助金（基盤研究(A)）「社会主義期東欧ロシアの歴史学」成果報告書	6. 最初と最後の頁 23-31
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hazuki Tate	4. 巻 _12
2. 論文標題 Le Comit_ international de la Croix-Rouge comme architecte du droit international : vers le Code des prisonniers de guerre (1929)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 monde(s) histoire espaces relations	6. 最初と最後の頁 203-220
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 館葉月	4. 巻 263
2. 論文標題 書評「木畑和子著『ユダヤ人児童の亡命と東ドイツへの帰還』	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 西洋史学	6. 最初と最後の頁 76-78
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ポータージョン	4. 巻 263
2. 論文標題 明治初期東京における町会所の解体と貧民救済 = 統制	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『ヒストリア』	6. 最初と最後の頁 263-288
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ポータージョン	4. 巻 20
2. 論文標題 実証研究との出会い	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『市大日本史』	6. 最初と最後の頁 42-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森田直子	4. 巻 54
2. 論文標題 メディアにみる近代ドイツの「決闘試合」(上)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 立正大学人文科学研究所年報	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森田直子	4. 巻 141
2. 論文標題 メディアにみる近代ドイツの「決闘試合」(中)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 立正大学文学部論叢	6. 最初と最後の頁 57-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計102件（うち招待講演 43件 / うち国際学会 41件）

1. 発表者名 伊東剛史
2. 発表標題 (シンポジウム趣旨説明) どこまでが動物なのか：人文学から考える
3. 学会等名 ヒトと動物の関係学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 伊東剛史
2. 発表標題 引き裂き、引き裂かれるダーウィン 動物生体解剖と植物の神経
3. 学会等名 ヒトと動物の関係学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 伊東剛史
2. 発表標題 新種発見の感情史：「鳥学共同体」における栄誉と名誉
3. 学会等名 『予想と創発：理知と感情の人文学』刊行記念シンポジウム
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 クリントン・ゴダール
2. 発表標題 「日本海軍将校たちの観音信仰」
3. 学会等名 モダン観音ワークショップ
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 クリントン・ゴダール
2. 発表標題 なぜ近代日本の戦略思想家は宗教に魅かれたのか?
3. 学会等名 仙台白百合女子大学
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 倉田明子
2. 発表標題 「香港史」とは何か：歴史と語りを振り返る
3. 学会等名 立命館大学社会システム研究所 2022公開学術シンポジウム「香港・台湾の来し方と 私 たちの行く末」（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 森田直子
2. 発表標題 「感情の歴史学 / 感情と歴史学：「感情史」の深層を求めて」
3. 学会等名 第7回古代史研究会春季研究集会（南川高志・井上文則編『生き方と感情の歴史学』検討会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小田原琳
2. 発表標題 金基鳳報告に対するコメント
3. 学会等名 第22回日韓・韓日歴史家会議「歴史研究の三分法をめぐって - 過去・現在・未来」（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小田原琳
2. 発表標題 コメント
3. 学会等名 早稲田大学高等研究所 / 早稲田大学ナショナリズム・エスニシティ研究所「知・権力・ナショナリズム」(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Rin Odawara
2. 発表標題 Global History of Post-1968 in Japan: Feminist History in Comparison
3. 学会等名 BB Seminar (Leiden University College The Hague) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yukako Otori
2. 発表標題 Yukako Otori, "Esther Kaplan's Saga: From an Undesirable Immigrnt to an Undeportable 'Child'"
3. 学会等名 Children and the Law: A Conference in Honor of Michael Grossberg: American Society for Legal History Pre-Conference, Northwestern University Pritzker School of Law and the American Bar Foundation. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 ジョン・ポーター
2. 発表標題 近世～近代移行期東京の救済構造－飯田直樹氏の近著によせて－
3. 学会等名 大阪歴史科学協議会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 鈴木 健太
2. 発表標題 現代史としてのユーゴスラヴィア紛争 30年後の地平
3. 学会等名 東京外国語大学「夏期世界史セミナー 世界史の最前線XIV」(オンライン)(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 鈴木 健太
2. 発表標題 著者リブライ、合評会 鈴木健太『ユーゴスラヴィア解体とナショナリズム セルビアの政治と社会(1987-1992年)』刀水書房、2022年
3. 学会等名 東欧史研究会 2022年度第5回例会(東京大学駒場キャンパス/オンライン)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 鈴木 健太
2. 発表標題 ユーゴスラヴィア紛争の歴史と公共圏
3. 学会等名 オンラインレクチャー「国が滅ぶ ユーゴスラヴィアの記憶と公共圏」(東京外国語大学ダブルディグリー・プログラム「公共圏における歴史(HIPS)」、オンライン)(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 舘葉月
2. 発表標題 書評会：大津留厚『さまよえるハブスブルク：捕虜たちが見た帝国の崩壊』(岩波書店、2021年)
3. 学会等名 東欧史研究会(招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 館葉月
2. 発表標題 コメント：両大戦間期フランスの歴史学界 危機と刷新
3. 学会等名 歴史学研究会創立90周年記念シンポジウム「戦前歴史学」のアリーナ 1932：歴研が生まれた頃」（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 鈴木 健太
2. 発表標題 通史として読む『ユーゴスラヴィア現代史』
3. 学会等名 「柴宜弘著『ユーゴスラヴィア現代史 新版』を読む」（オンライン）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 G. Clinton GODART
2. 発表標題 Without the Salvation of Women, No Living Faith in the Lotus Sutra: Koizumi Kikue (1904-1992) and Nichirenism
3. 学会等名 16th International Conf. of the European Assoc. of Japanese Studies (EAJS) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 ゴダール、クリントン
2. 発表標題 「ダーウィン、仏教、神：近代日本の進化論と宗教」
3. 学会等名 日本思想史学会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 ゴダール、クリントン
2. 発表標題 近代日本を教える 宗教・思想・科学
3. 学会等名 第10回大阪大学日本語_日本文化国際フォーラム「日本を教える」(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yukako Otori
2. 発表標題 Exclusion for 'Protection': The Making of Unaccompanied Alien Minors as a Legal Category.
3. 学会等名 The Eleventh Biennial Conference of the Society for the History of Children and Youth (SHCY) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大鳥由香子
2. 発表標題 アメリカにおける黒人の身体：女性と子どもを中心に
3. 学会等名 東京外国語大学BLM連続セミナー
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 森田直子
2. 発表標題 感情史における「はざま期」：共感を手がかりに
3. 学会等名 上智大学ヨーロッパ研究所講演会(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 John Porter
2. 発表標題 Poverty Management and the Early Modern Japanese City: A Case Study of Poor Relief in Osaka's Miike-dori Neighborhood
3. 学会等名 Solidarity and Mutual Aid in Modern and Contemporary Japan (1603-2020) Conference、フランス国立日本研究所(東京)(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 John Porter
2. 発表標題 Land Ownership, Status, and Local Society in Early Meiji Asakusa-Shinch
3. 学会等名 16th International Conference of the European Association for Japanese Studies (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 ジョン・ポーター
2. 発表標題 幕末江戸の場末門前町と身分的周縁：乞胸の龍光寺門前への集団的移転を事例に
3. 学会等名 部落問題研究所歴史研究会(京都)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小田原琳
2. 発表標題 BLMと#MeToo
3. 学会等名 連続セミナー：Black Lives Matter運動から学ぶこと(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小田原琳
2. 発表標題 近代のかたちとジェンダー
3. 学会等名 歴史学研究会大会合同部会「主権国家再考Part4：国民国家の再点検」（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小田原琳
2. 発表標題 21世紀の感情の共同体？
3. 学会等名 書評シンポジウム：ヤン・ブランパー『感情史の始まり』（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Takashi Ito
2. 発表標題 The Logistics of Bird Collecting in the Age of Empires: The Finding and Naming of the Mikado Pheasant
3. 学会等名 Logistical Natures Workshop（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 伊東剛史
2. 発表標題 動物園史の現在
3. 学会等名 動物観研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 伊東剛史
2. 発表標題 気候馴化と動物資源管理の歴史－19世紀イギリスを中心に
3. 学会等名 上智大学地球環境研究所「サステナビリティとダーウィニズムについて考える」(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 伊東剛史
2. 発表標題 感情史の理論と実践
3. 学会等名 東北大学国際文化研究科国際日本研究講座企画公開講演(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 クリントン・ゴダール
2. 発表標題 小笠原長生と近代日本の観音信仰
3. 学会等名 第3回日蓮主義勉強会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Clinton Godart
2. 発表標題 "Nichiren Buddhism in Modern Japan"
3. 学会等名 Modern Japanese Studies Program, Hokkaido University (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Rin Odawara
2. 発表標題 A difficulty in remembering the 'innocent' dead: mass killing at Fosse Ardeatine and Italy's post-war national identity
3. 学会等名 EURAXESS ME!?(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小田原琳
2. 発表標題 「イタリアの戦後処理と歴史認識」
3. 学会等名 朝日カルチャーセンター横浜教室「戦後処理と歴史認識」(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Rin Odawara
2. 発表標題 On Hirota Masaki 'Structure of Discrimination in Modern Japan'
3. 学会等名 Modern Japan Workshop 2020(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大鳥由香子
2. 発表標題 岐路に立つアメリカ社会 「産獄複合体」とその歴史から考える
3. 学会等名 府中市立図書館講演会(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大鳥由香子
2. 発表標題 越境者の身体と移民規制の始まり エリス島を中心に
3. 学会等名 ボストン日本人研究者交流会 東京支部 講演会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yukako Otori
2. 発表標題 Age as a Documented Fact: Child Migration and Immigrant Inspection at Ellis Island
3. 学会等名 American Historical Association (AHA) Seminar on Chronological Age (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Takashi Ito
2. 発表標題 The Logistics of Bird Collecting in the Age of Empires: Walter Goodfellow's Expedition to Taiwan, New Guinea and the Philippines
3. 学会等名 International Workshop on Logistical Nature: Trade, Traffics and Transformations in Natural History Collecting (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Takashi Ito
2. 発表標題 The Honour of Naming a New Species: Emotional Communities of Naturalists in the Early Twentieth Century,
3. 学会等名 Colloquium, Centre for the History of Emotions, Max Plank Institute for Human Development (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊東剛史
2. 発表標題 (コメンテーター)『犬からみた人類史』を読んで、書評会：大石高典、近藤祉秋、池田光穂編『犬からみた人類史』(勉誠出版、2019年)
3. 学会等名 東京外国語大学海外事情研究所(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takashi Ito
2. 発表標題 Building the Ark in Modern Rome: Animals and Architecture in Post-Regency London
3. 学会等名 International Workshop on Genius Loci and Accumulation of Memories(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takashi Ito
2. 発表標題 The Legacy of Enlightenment Science?: The Identification and Identity of Animal Species in the Age of Empires
3. 学会等名 International Conference on Enlightenment and Identity(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takashi Ito
2. 発表標題 The Naming of the Mikado Pheasant: Ornithology, Aviculture and Zoogeography in the Age of Empires
3. 学会等名 International Society for the History, Philosophy and Social Studies of Biology(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ゴダール・クリントン
2. 発表標題 「東亜連盟運動の女性達」
3. 学会等名 日蓮主義勉強会第2回 (仙台) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 G. Clinton Godart
2. 発表標題 “Aspiring to Singularity: Nichirenist hopes for the Unification of Space, Gender, and Mind,”
3. 学会等名 AAS-in-Asia (Bangkok) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 G. Clinton Godart
2. 発表標題 Religious Receptions of Darwinism in Modern Japan
3. 学会等名 Second East Asian Society for the Scientific Study of Religion (EASSR) (Sapporo) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ゴダール・クリントン
2. 発表標題 「東亜連盟運動と小泉菊枝」
3. 学会等名 東アジア日本研究者学術協議会 (台北) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ゴダール・クリントン
2. 発表標題 「日蓮主義、日本主義、軍人=石原莞爾と海軍軍人の比較研究」
3. 学会等名 第2回「近代の仏教思想と日本主義」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 倉田明子
2. 発表標題 李提摩太與普世基督教：以他對佛教的理解與普世教會合一運動的關係為中心
3. 学会等名 第十一屆近代中國基督教_史研討會「華人教會與普世基督教」(國際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Rin Odawara
2. 発表標題 A complicated relationship between the eugenics and the reproductive rights in Post-War Japan
3. 学会等名 Reproductive (Non) Freedom (Ca' Foscari University of Venice, Italy) (招待講演) (國際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小田原琳
2. 発表標題 無垢の死者を想起することの困難：フォッセ・アルデアティーネの虐殺と戦後イタリアのナショナル・アイデンティティ
3. 学会等名 東アジアのメモリー・レジーム：再現と遂行(西江大学、韓国)(招待講演)(國際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Rin Odawara
2. 発表標題 Motherhood and the Anti-nuclear Movement in Post-War Japan
3. 学会等名 Gender and Criticism: Japan in the Trans-Pacific (California State University, Northridge, the United States) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 SUZUKI Kenta
2. 発表標題 "1989" in Socialist Yugoslavia: A Reassessment
3. 学会等名 The 10th East Asian Conference on Slavic Eurasian Studies (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hazuki Tate
2. 発表標題 Cooperation and Competition between the League of Nations and the Red Cross Movement in their First Humanitarian Activities in the Post-War World
3. 学会等名 International symposium A Century of Internationalisms: The Promise and Legacies of the League of Nations_in ISCTE-IUL, Lisbon, Portugal
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ポータージョン
2. 発表標題 近世中後期大坂における貧民救済と地域社会
3. 学会等名 上海・大阪シンポジウム(大阪)、大阪市立大学・杉本キャンパス
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 John Porter
2. 発表標題 Status Property and Wage Labor in the Early Modern City
3. 学会等名 American Historical Association 134th Annual Meeting (NY, USA)、Hilton Times Square (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 伊東剛史
2. 発表標題 動物園の価値と評価－歴史学の視点から
3. 学会等名 動物園学を考える会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊東剛史
2. 発表標題 動物園と科学の関係－黎明期のロンドン動物園を題材として
3. 学会等名 日本科学史学会科学史学校 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊東剛史
2. 発表標題 イギリスにおける動物福祉の歴史－現代日本の視点から
3. 学会等名 動物観研究会公開ゼミナール2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伊東剛史
2. 発表標題 科学の大衆化が専門分科と専門職業化に及ぼした影響－19世紀のロンドン動物学協会を事例に
3. 学会等名 日本西洋史学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takashi Ito
2. 発表標題 What did they bring back from Japan?: reappraisal of the oyatoi
3. 学会等名 Narrating Empire and Nation: Comparative Perspectives on Politics, Religion, and Culture in Central Europe and Japan (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takashi Ito
2. 発表標題 Commentator
3. 学会等名 International Forestry Networks and Knowledge Production (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takashi Ito
2. 発表標題 Commentator
3. 学会等名 Humanity and the Post-Human in Mary Shelley ' s Frankenstein (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 G. Clinton Godart
2. 発表標題 Evolutionary Theory is the Superstition of Modernity': Anti-Evolutionary Thought in Modern Japan
3. 学会等名 The Creation-Evolution Controversy from Global Perspective
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 G. Clinton Godart
2. 発表標題 「日蓮主義と日本帝国海軍 佐藤鉄太郎を中心にして」
3. 学会等名 日本近代仏教史研究会研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 G. Clinton Godart
2. 発表標題 「近代日本の東亜連盟運動と日蓮主義の再考」
3. 学会等名 国際日本学フォーラム（南開大学）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 G. Clinton Godart
2. 発表標題 「進化論の受容者としての井上円了」
3. 学会等名 日本宗教学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 倉田明子
2. 発表標題 コメンテーター：シンポジウム「中国におけるキリスト教の発展と挑戦」
3. 学会等名 キリスト教史学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 森田直子
2. 発表標題 感情の自己統御 教養市民たちの試み
3. 学会等名 日本独文学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Rin ODAWARA
2. 発表標題 Forgotten women in the memory and history: from the cases during the WWI in Italy
3. 学会等名 「帝国とネイションを語る：中央ヨーロッパと日本における政治・宗教・文化比較」(Central European University) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Rin ODAWARA
2. 発表標題 Un/learning her rights: the issue of reproduction in the 68 and after in Japan
3. 学会等名 Words and Violence: Global History of the 1968 Protests in Japan and its Contemporary Meaning (Leiden University) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Rin ODAWARA
2. 発表標題 Anti-nuclear Movements and the Concept of 'Motherhood' in Post-War Japan: A Feminist Perspective
3. 学会等名 Donne Disarmanti / Disarming Women (University of Venice Ca'Foscari) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ポーター・ジョン
2. 発表標題 明治初期東京における斃獣
3. 学会等名 部落問題研究所年次総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ポーター・ジョン
2. 発表標題 Cattle Plague, Livestock Disposal, and the Dismantling of the Early Modern Status Order
3. 学会等名 Revisiting Japan's Restoration: Interregional, Interdisciplinary, and Alternative Perspectives, National University of Singapore (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ポーター・ジョン
2. 発表標題 Poverty Management, Social Integration, and Subsistence in Meiji Tokyo
3. 学会等名 The Meiji Restoration and Its Afterlives: Social Change and the Politics of Commemoration, Yale University (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木健太
2. 発表標題 1989年の社会主義ユーゴスラヴィア 大衆的政治運動と共和国間対立
3. 学会等名 東欧史研究会主催シンポジウム「歴史としての「ユーゴスラヴィア」 建国100年の地点から振り返る」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木健太
2. 発表標題 ユーゴスラヴィアにおける「1989年」 30年後の理解と論点
3. 学会等名 特別研究員研究会（東京外国語大学海外事情研究所）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊東剛史
2. 発表標題 ダーウィンと「動物の痛み」 感情史研究の一事例として
3. 学会等名 日本感情心理学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 伊東剛史
2. 発表標題 コメンテーター：シンポジウム「感情史の射程 日独事例研究から 」
3. 学会等名 ドイツ現代史学会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Rin Odawara
2. 発表標題 Rights of Women vs. Rights of the Disabled People: Eugenics in Japan after the 1968
3. 学会等名 第15回ヨーロッパ日本研究学会大会, Lisbon (Portugal) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小田原琳
2. 発表標題 生への権利と生殖への権利 - 現代日本におけるフェミニズムと優生思想
3. 学会等名 グローバルな記憶空間としての東アジア, ソウル (韓国) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Rin Odawara
2. 発表標題 Comment on Carmen Bermonete 'Fictive Realities: The Practice of Human Display in Italian National Exhibitions'
3. 学会等名 先住民をめぐる言説・表象・プラクティス, 東京 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Rin Odawara and Junko Kume
2. 発表標題 _Feminismo o eugenesia? Debates en torno al aborto en el Japon de postguerra
3. 学会等名 III Congreso internacional en historia de las mujeres y estudios de g_nero, Zacatecas (Mexico) (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 倉田明子
2. 発表標題 返還と「香港史」
3. 学会等名 立教大学アジア地域研究所主催「香港返還20周年記念シンポジウム 香港の過去・現在・未来」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鈴木健太
2. 発表標題 合評会：山本明代、パプ・ノルベルト編著『移動がつくる東中欧・バルカン史』刀水書房(2017年)
3. 学会等名 東欧史研究会 2017年度第3回例会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鈴木健太
2. 発表標題 21世紀における「バルカン」 - 地域をめぐる概念と認識
3. 学会等名 ワークショップ「バルカン地域研究の新展開 民族文化の越境・接触・変化をめぐる多角的研究を目指して」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木健太
2. 発表標題 1980年代末の社会主義ユーゴスラヴィアにみる体制変動と対立形成 政治参加とナショナリズム
3. 学会等名 2017年度仙台中東欧研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 館葉月
2. 発表標題 世界大戦後の「ロシア問題」と人の移動：東部戦線の戦争捕虜帰還に着目して
3. 学会等名 史学会大会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hazuki Tate
2. 発表標題 Internment after the end of the war: “Humanitarian camps” in the process of POW repatriation, 1918_1923
3. 学会等名 Military and Civilian Internment in World War I Differential Treatment, Its Motives and Long-Term Implications (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 館葉月
2. 発表標題 捕虜法典の制定へ向けて：1920年代の赤十字国際委員会と国際法学者の取り組み
3. 学会等名 西洋史学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hazuki Tate
2. 発表標題 Long Process of Repatriating POWs after the First World War: Challenges of the International Committee of the Red Cross
3. 学会等名 Political Economy Tokyo Seminar (PoETS)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 森田直子
2. 発表標題 《ちちんぷいぷい、痛い痛い、飛んでいけ！》 痛みはどこへ？
3. 学会等名 東洋大学人間科学総合研究所 公開セミナー 歴史学と感情研究『痛みと感情のイギリス史』合評会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 森田直子
2. 発表標題 趣旨説明：シンポジウム「感情史の射程 日独事例研究から 」
3. 学会等名 第40回ドイツ現代史学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 森田直子
2. 発表標題 歴史学と感情
3. 学会等名 第11回日本感情心理学会セミナー（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 ポータージョン
2. 発表標題 明治初期東京における町会所の解体と貧民救済 = 統制
3. 学会等名 大阪歴史学会2017度大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 ポータージョン
2. 発表標題 Poverty Management, Social Integration, and Subsistence in Meiji Tokyo
3. 学会等名 The Meiji Restoration and Its Afterlives: Social Change and the Politics of Social Change (CT, USA)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 ポータージョン
2. 発表標題 浅草新町と地域史料
3. 学会等名 国際シンポジウム「災害文化形成を担う地域歴史資料学の確率をめざして」神戸大学先端融合研究環境総合研究拠点コンベンションホール
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計52件

1. 著者名 伊東剛史	4. 発行年 2023年
2. 出版社 ナカニシヤ書店	5. 総ページ数 336
3. 書名 翻案される動物史：なぜ、ミカドキジはミカドキジと名づけられたのか？：志村真幸編『動物たちの日本近代』	

1. 著者名 伊東剛史	4. 発行年 2022年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 450
3. 書名 新種発見の感情史：「鳥学共同体」における栄誉と名誉：中村靖子編『予想と創発：理知と感情の人文学』277-313	

1. 著者名 倉田明子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 -
3. 書名 宗教一統制をすり抜けボーダーを超える信仰：川島真編『ようこそ中華世界へ』（シリーズ 地域研究のすすめ）241-258	

1. 著者名 倉田明子訳	4. 発行年 2022年
2. 出版社 みすず書房	5. 総ページ数 259
3. 書名 九龍城塞の歴史	

1. 著者名 森田直子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 -
3. 書名 「『文明化の過程』（エリアス）」（日本18世紀学会，啓蒙思想の百科事典編集委員会編『啓蒙思想の百科事典』）8-9	

1. 著者名 森田直子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 水声社	5. 総ページ数 -
3. 書名 「歴史学と文学のはざま？ 感受性文学を手がかりに感情史を考える」（小川公代、吉野由利編『感受性とジェンダー： 共感 の文化と近現代ヨーロッパ』87-107	

1. 著者名 小田原琳・秦泉寺友紀・山手昌樹訳	4. 発行年 2022年
2. 出版社 人文書院	5. 総ページ数 357
3. 書名 キャロル・ヘルストスキー 『イタリア料理の誕生』 32-110	

1. 著者名 大鳥由香子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 小鳥遊書房	5. 総ページ数 -
3. 書名 「初期アメリカにおける子育て スウオッドリングとクレイドル・ボードから考える」佐久間みかよ、橋川健竜、増井志津代、小倉いずみ編 『改革が作ったアメリカ 初期アメリカ研究の展開』 122-125	

1. 著者名 ジョン・ポーター	4. 発行年 2023年
2. 出版社 清文堂	5. 総ページ数 -
3. 書名 周縁的社会集団と近代 143-163	

1. 著者名 ジョン・ポーター	4. 発行年 2022年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 -
3. 書名 新体系日本史 8 社会集団史 77-92	

1. 著者名 Hazuki Tate	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Cornell University Press	5. 総ページ数 -
3. 書名 10. Internment after the War's End: "Humanitarian Camps" in the POW Repatriation Process, 1918-1923, in Rotem Kowner, Iris Rachamimov (eds), Out of Line, Out of Place: A Global and Local History of World War I Internments 223-243	

1. 著者名 館葉月	4. 発行年 2022年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 -
3. 書名 事典項目「国際赤十字・赤新月運動」：日本医史学会『医学史事典』 726-737	

1. 著者名 Takashi Ito	4. 発行年 2021年
2. 出版社 De Gruyter Oldenbourg	5. 総ページ数 -
3. 書名 History of the Zoo' in Mieke Roscher, Andre Krebber and Brett Mizelle (eds), Handbook of Historical Animal Studies, 439-455	

1. 著者名 鈴木 健太	4. 発行年 2021年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 -
3. 書名 旧ユーゴスラヴィアの観光：中欧・東欧文化事典編集委員会編『中欧・東欧文化事典』 316-317	

1. 著者名 鈴木 健太	4. 発行年 2021年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 -
3. 書名 セルビアの歴史認識・歴史教科書問題 : 中欧・東欧文化事典編集委員会編 『中欧・東欧文化事典』710-711	

1. 著者名 鈴木 健太	4. 発行年 2022年
2. 出版社 刀水書房	5. 総ページ数 326
3. 書名 ユーゴスラヴィア解体とナショナリズム：セルビアの政治と社会（1987-1992年）	

1. 著者名 G. Clinton GODART	4. 発行年 2022年
2. 出版社 University of Hawai'i Press	5. 総ページ数 -
3. 書名 "Science and Religion in Modern Japan: An Historical Approach," Matthew McMullen and Jolyon B. Thomas, Eds. The New Nanzan Guide to Japanese Religions 未定（刊行予定）	

1. 著者名 大鳥由香子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東京外国語大学出版会	5. 総ページ数 -
3. 書名 エメット・ティルの死 ブラック・ライヴズ・マター運動における記憶のモチーフ: 武内進一・中山智香子編 『ブラック・ライヴズ・マターから学ぶ アメリカからグローバル世界へ』138-157	

1. 著者名 John P. Porter	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 -
3. 書名 Cattle Plague, Livestock Disposal, and the Dismantling of the Early Modern Status Order. Timothy Amos and Akiko Ishii (eds), Revisiting Japan's Restoration: New Approaches to the Study of the Meiji Transformation, 173-180	

1. 著者名 ジョン・ポーター	4. 発行年 2022年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 -
3. 書名 新体系日本史：8. 社会集団史 77-92	

1. 著者名 倉田明子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 -
3. 書名 キリスト教からみる国安法の前と後；倉田徹、小栗宏太編著『香港と「中国化」：受容・摩擦・抵抗の構造』，209-232	

1. 著者名 小田原琳	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東京外国語大学出版会	5. 総ページ数 -
3. 書名 #BLMと#MeToo：インターセクショナリティと共生のコミュニティ：武内進一・中山智香子編『ブラック・ライヴズ・マターから学ぶ：アメリカからグローバル世界へ』 93-110	

1. 著者名 館葉月	4. 発行年 2021年
2. 出版社 水声社	5. 総ページ数 -
3. 書名 子どもたちが記憶する第一次世界大戦 北フランスの占領とその後：小森謙一郎・戸塚学・北村紗衣編 『人文学のレッスン：文学・芸術・歴史』 261-283	

1. 著者名 伊東剛史	4. 発行年 2021年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 -
3. 書名 ロンドン動物学会と動物学の制度化 専門分科の分岐点：大野誠編 『近代イギリス科学の社会史』 144-166	

1. 著者名 伊東剛史	4. 発行年 2021年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 -
3. 書名 (共訳) パーバラ・H・ローゼンワイン/ リッカルド・クリスティアーニ 『感情史とは何か』 42-97 (分担箇所)	

1. 著者名 G. Clinton Godart	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Lexington Books	5. 総ページ数 -
3. 書名 ' "Future War and Future Peace after 1919: Ishiwara Kanji and the Imperial Japanese Army in the Wake of World War I," in Tosh Minohara and Evan Dawley, eds., Beyond Versailles: The 1919 Moment and a New Order in East Asia 227-246	

1. 著者名 クリントン・ゴダール	4. 発行年 2020年
2. 出版社 法蔵館	5. 総ページ数 -
3. 書名 日蓮主義と日本主義との衝突--日中戦争期における東亞連盟運動」、石井公成（監修）、近藤俊太郎・名和達宣（編集）『近代の仏教思想と日本主義』 253-282	

1. 著者名 G. Clinton Godart	4. 発行年 2021年
2. 出版社 University of Hawai'i Press	5. 総ページ数 -
3. 書名 Godart "On Buddhist Marriage, by Tanaka Chigaku," in Orion Klautau and Hans Martin Kramer eds., Buddhism and Modernity: Sources from Nineteenth-Century Japan 212-220-	

1. 著者名 倉田明子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 -
3. 書名 (共訳) ジョン・M・キャロル 『香港の歴史』 19-210 (担当箇所)	

1. 著者名 倉田明子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 平凡社	5. 総ページ数 456
3. 書名 (監訳) ティモシー・リチャード 『中国伝道四五年：ティモシー・リチャード回想録』	

1. 著者名 森田直子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 みすず書房	5. 総ページ数 608
3. 書名 (監訳) ヤン・ブランパー 『感情史の始まり』	

1. 著者名 森田直子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 -
3. 書名 (共訳) パーバラ・H・ローゼンワイン/ リッカルド・クリスティアーニ 『感情史とは何か』 2-39 (翻訳 分担箇所)	

1. 著者名 小田原琳	4. 発行年 2020年
2. 出版社 績文堂	5. 総ページ数 -
3. 書名 パンデミックとジェンダー分業 - - 共同体の公正な存続のために：歴史学研究会編 『コロナの時代の歴史 学』 171 (担当129-137)	

1. 著者名 小田原琳	4. 発行年 2021年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 -
3. 書名 (共訳) パーバラ・H・ローゼンワイン/ リッカルド・クリスティアーニ 『感情史とは何か』 246 (担当 99-158)	

1. 著者名 小田原琳	4. 発行年 2021年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 294
3. 書名 (翻訳) ゼバスティアン・コンラート『グローバル・ヒストリー 批判的歴史叙述のために』	

1. 著者名 羽場久美子編集代表(鈴木健太ほか著)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 -
3. 書名 『中欧・東欧文化事典』(鈴木「旧ユーゴスラヴィアの観光」)	

1. 著者名 羽場久美子編集代表(鈴木健太ほか著)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 -
3. 書名 『中欧・東欧文化事典』(鈴木「セルビアの歴史認識・歴史教科書問題」)	

1. 著者名 Takashi Ito	4. 発行年 2019年
2. 出版社 McGill-Queen's University Press	5. 総ページ数 -
3. 書名 Flying Penguins in Japan's Northernmost Zoo, in Tracy McDonald and Dan Vandersommers (eds) Zoo studies: a new humanities 227-48	

1. 著者名 Takashi Ito	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Boydell & Brewer / Royal Historical Society	5. 総ページ数 226
3. 書名 London Zoo and the Victorians, 1828_1859, paperback edition	

1. 著者名 倉田明子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 新教出版社	5. 総ページ数 -
3. 書名 「『万国公報』における中国人知識人のキリスト教観」、ミラ・ゾンターク編著『グローバル・ヒストリーの中のキリスト教』所収 195-210	

1. 著者名 倉田明子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 -
3. 書名 「都市・チャリティ・動物：動物虐待防止条例の成立からみる『香港社会』の形成」、倉田徹編『香港の過去・現在・未来：東アジアのフロンティア（アジア遊学234）』所収 115-126	

1. 著者名 倉田明子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 建道神学院	5. 総ページ数 -
3. 書名 「日占時期的香港天主教之救済事業」、劉義章ほか編『国不攻打国：戦争与和平史学論集』所収65-86	

1. 著者名 倉田徹、倉田明子編著	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京外国語大学出版会	5. 総ページ数 389
3. 書名 香港危機の深層	

1. 著者名 小田原琳	4. 発行年 2020年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 212
3. 書名 「書評 誰のために歴史を書くのか - - ゼバスティアン・コンラート『グローバル・ヒストリーとはなにか?』」成田龍一・長谷川貴彦編『世界史をいかに語るか グローバル時代の歴史像』(141-149)	

1. 著者名 柴宜弘・山崎信一編著（鈴木健太ほか25名著）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 388
3. 書名 『ボスニア・ヘルツェゴヴィナを知るための60章』（鈴木「連邦解体とボスニア紛争」「ヤイツェ」「アグロコメルツとフィクレト・アブディチ」「移民・難民とディアスポラ」「サラエヴォ五輪とその遺産」）(76-81,111-113,177-179,247-251,325-330)	

1. 著者名 舘葉月	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 -
3. 書名 「第9章大戦から大戦へー変動する世界とフランス社会」平野千果子編『新しく学ぶフランス史』第9章	

1. 著者名 伊東剛史	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東京外国語大学出版会	5. 総ページ数 -
3. 書名 解説「なぜ今、感情史なのか」ウーテ・フレーフェルト（櫻井文子訳）『歴史の中の感情』209-216	

1. 著者名 ゴダール・クリントン	4. 発行年 2018年
2. 出版社 慶応義塾大学出版会	5. 総ページ数 7
3. 書名 「進化論の受容」、大谷栄一他編『日本宗教史のキーワードー近代主義を超えて』	

1. 著者名 ジョン・ポーター	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 -
3. 書名 「非人集団の近代」吉田伸之編『シリーズ三都 江戸巻』225-248	

1. 著者名 Zarko Lazarevic, Nobuhiro Shiba, Kenta Suzuki (eds.)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Institute of Contemporary History (Ljubljana)	5. 総ページ数 245
3. 書名 The 20th Century Through Historiographies and Textbooks: Chapters from Japan, East Asia, Slovenia and Southeast Europe	

1. 著者名 【共訳】小田原琳	4. 発行年 2017年
2. 出版社 作品社	5. 総ページ数 703
3. 書名 ヘイドン・ホワイト『メタヒストリー』（担当575-648）	

1. 著者名 小田原琳	4. 発行年 2017年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 366
3. 書名 高橋進・村上義和編著『イタリアの歴史を知るための50章』（担当193-198, 211-212, 286-288, 296-298）	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	倉田 明子 (Kurata Akiko) (20636211)	東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・准教授 (12603)	
研究分担者	小田原 琳 (Odawara Rin) (70466910)	東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・准教授 (12603)	
研究分担者	Porter John (Porter John) (30572614)	東京外国語大学・大学院国際日本学研究院・准教授 (12603)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	鈴木 健太 (Suzuki Kenta) (00749062)	神田外国大学・グローバル・リベラルアーツ学部rt・講師 (32510)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	大鳥 由香子 (Otori Yukako)		
連携研究者	森田 直子 (Morita Naoko) (30452064)	立正大学・文学部・准教授 (32687)	
連携研究者	ゴダール クリントン (Godart Clinton G.) (00778615)	東北大学・大学院国際文化研究科・准教授 (11301)	
連携研究者	館 葉月 (Tate Hazuki) (50803102)	武蔵大学・人文学部・准教授 (32677)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 近世経済史から考える「共感の共同体」－商人ネットワークの比較史を題材として	開催年 2018年～2018年
---	--------------------

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関